

「家庭科」(家庭) 学習指導案

1. 日時 令和6年7月10日(水) 第4時限(11:25~12:05)
2. 場所 高等部 教室
3. 学部・学年・組 高等部
4. 単元(題材)名 「計画的な消費生活」
5. 単元(題材)目標

本単元は、高等部学習指導要領職業家庭科の「消費生活・環境」「ア消費生活」を基に実施している。

- ・商品購入の際の基準となる視点や、様々な支払方法や店舗形態の種類を知っている。(知識及び技能)
- ・適切な商品や支払い方法を自身で選択することができる。(思考力、判断力、表現力)
- ・自身に合った、より良い商品を選択しようとしている。(学に向かう力、人間性等)

6. 生徒観

本グループは、男子7名、女子7名の計14名が在籍している。特別支援学習指導要領における学習段階は小学部3段階から高等部1段階と幅広く、柔軟な指導が必要である。卒業後は就職・グループホームを検討している生徒もおり、一人で買い物をすることが予想される。生活をするためにお金が必要であることは理解しているが、実際に自身にかかるお金がいくらかかるのかを理解している生徒は少ない。また、衣類や日用品など、自分のものを自身で選んでいない生徒もおり、商品購入の機会が少なく、商品を選ぶ基準や相場を知る必要がある。「計画的な消費生活」「正しい商品の選択」の力を習得しておきたい。

グループの実態としては、板書や電子黒板上の文字を読み理解し、全体指示で作業に移行できる生徒が多いが、個別に指示を行う必要がある生徒もおり、適宜支援をしながら授業を進める。指導者からの質問に対しては、皆が口頭で答えることができる。日常生活でも、生徒同士のコミュニケーションが活発で、グループでの活動も行いやすい。しかし、グループ活動が難しい生徒も在籍しており、対象生徒には支援者が間に入るようにする。

7. 単元(題材)の評価規準

A 知識・技能	B 思考・判断・表現	C 主体的に学習に取り組む態度
① 商品の特徴や支払い方法、店舗形態の種類について答えることができる。	① 商品情報を基に必要な商品を選択することができる。	① 商品についてより詳しく知ろうとしている。
② 支払方法や店舗形態の違いについて理解している。	② 状況に応じて適切な支払方法や店舗形態を選択することができる。	② 自身に合った支払方法や店舗形態について考え、将来につなげようとしている。
③ 様々な悪質商法について知っている	③ 消費者トラブルに合った場合の対応方法について答えられる。	③ まとめた内容を発表することができる。

8. 単元の指導と評価の計画（全9時間、本時は第2時）

次	時	学習内容・学習内容	指導上の留意点	評価規準 (評価方法)
1	1 2	商品を選ぶ ・商品選択のためのポイントを知ろう ・くらしの中のマーク探し	・スライドを使って、商品購入のためのポイントについて提示する。 ・くらしの中にある製品に書かれているマークを見つけ、意味を調べ、商品の特徴をまとめるよう伝える。(ICT、グループワーク)	A、C
2	3 4	様々なお店 ・店舗形態の種類 支払方法の多様化 ・お金を払う方法について考えよう	・様々な店舗形態を紹介し、それぞれのメリットとデメリットを考えるよう促す。 ・支払方法の種類と前払い・即時払い・後払いに分け、お金の流れを確認しながら紹介する。 ・それぞれのメリットデメリットについて考えるよう促す。	A、B
	5	・身近なお店はどんな支払方法が使えるだろう？	・3つの身近なお店を提示し、グループに分かれ、使用できる支払方法を調べ発表する機会を設ける。(ICT、グループワーク)	C
3	6 8	悪質商法 ・消費者トラブルにつながる悪質商法を学ぶ 消費者のための権利 ・消費者の8つの権利と5つの責任 ・もし消費者トラブルに巻き込まれたら	・動画を見て、悪質商法の実態を見せる。(ICT) ・消費者の行動を、権利と責任に分け、消費者が持つべき意識について確認する。 ・ロールプレイングで消費者トラブルへの対応を考え、発表させる。(グループワーク)	A、B、C
4	9	一番のチョコレートを探せ ・要望に合ったチョコレートを選ぼう	・条件に合わせたチョコレートを探して、なぜこれを選んだかポイントをまとめ、プレゼンテーションをするよう伝える。	C

9. 本時の展開

(1) 本時の目標

- ・製品に書かれている表示に気付くことができる。
- ・タブレットを使ってくらしの中のマークの意味を調べることができる。
- ・製品表示を基に、製品の良さについてまとめることができる。

(2) 本時の評価規準

- ・どのような製品表示があるか見つけ出そうとしている。
- ・検索サイトを使って、製品に書かれている表示と同じマークを見つけることができる。
- ・製品の特徴をまとめて表現することができる。

(3) 本時の ICT 活用のポイント (活用のねらい、工夫する点)

- ・画像検索機能を使って、製品表示の絵の意味について調べる。
- ・モニターにくらしの中のマークを映しながら発表する。

(4) 本時の学習過程

時間	学習内容・学習活動	指導上の留意点及び支援の手だて等	評価規準 (評価方法)
5分	<ul style="list-style-type: none"> ・挨拶をする。 ・出席をとる。 ・前回の授業内容の確認。 	<ul style="list-style-type: none"> ・日直を指名し、挨拶をするように伝える。 ・前回の授業内容について生徒に尋ねながら確認する。 	
10分	<ul style="list-style-type: none"> ・本時の授業内容の説明。 ・グループに分かれる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシートをモニターに表示しながら本時の目標を説明する。(ICT) ・グループをモニターに表示して、移動するように伝える。(ICT) ・グループ内での役割(書記・発表者・検索役)を決めておくように伝え、適宜お互いの役割を助け合うように促す。 	
20分	<ul style="list-style-type: none"> ・製品を選び、製品の特徴について調べる。 ・ワークシートにまとめる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・T1がワークのやり方をデモンストレーションする。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>マークを見つけて写真を撮る ↓ グーグル画像検索を使って意味を調べる ↓ ワークシートに記入する ↓ 製品のセールスポイントをまとめる</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・グループ毎に、3つの製品からひとつ選ぶよう伝え、1グループずつ前に来るように指示し、タブレットと製品を渡す。(ICT) ・揃ったところから製品のマークを探すように伝える。 ・製品の表示はひとつだけとは限らないことを知らせ、積極的に製品を調べるように言葉かけをする。 ・店員になったつもりで製品のセールスポイントをまとめるように伝える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・商品についてより詳しく知ろうとしている。(主) ・商品の特徴について答えることができる。(知・技)

